

## ♥ ★ ■









1987年にカナダでわさび農園をスタート。ハウス栽培に成功するも、20年後 に閉園。2018年に再びカナダに進出し、現地わさび農園2社と調達契約を 締結。2019年3月に現地法人「Kameya Foods Canada Inc.」を設立

展開国·地域

2019年 カナダ

企業情報

所在地: 静岡県駿東郡 従業員数: 100名

設 立: 1947年3月

URL: https://kameya-foods.co.jp/

わさび清、おろしわさび、わさび加工食品、清物、佃煮、 ふりかけ、茶漬、ドレッシング、その他調味料の製造



- 1 カナダをはじめ、米国に輸出している主力商品。一番人気は「おろし本わさび」
- 2018年10月、専門家のアテンドで亀谷社長が訪問したカナダのわさび農園 この視察で2社のわさび農園と契約を結んだ
- 3 2019年1月、米国・サンフランシスコで開催された「Fancy Food Show」に出展した際の様子



## 生産から加工まで一貫して行うタフなメーカーへ

わさびの不作が続くと、伊豆の契約農家からの入荷が止まることがあります。弊社 は加工メーカーなので、材料がないことには商品が作れない。その状況に危機感を 覚え、私の父が自社農園を作ろうとしたのですが、当時の日本は農業に関する規 制が厳しく断念。そこで海外に目を向け、プライベートでよく訪れていたカナダで 1987年からわさびの栽培を始めました。最初のうちは順調でした。ところが、人材 確保やコミュニケーションの壁に当たり、途中で頓挫してしまって・・・。ただ、その時 においしいわさびが作れることが分かったので、現地で信頼できる人さえ見つけら れればチャンスはあると信じていました。今では日本にも三つの自社農園があり、そ もそもの問題はクリアできたのですが、カナダに置き忘れた夢は大きくなる一方でし た。そしてもう一度、カナダでチャレンジすることを決め、2016年にジェトロを訪問。 カナダ進出の相談をしました。

## ドライブインで偶然見かけた自社製品に商機を確信

ジェトロとの面談を通じて、「新輸出大国コンソーシアム」の専門家によるハンズオ ン支援を利用することになり、2017年3月に専門家と一緒にカナダに飛びました。 この時の視察で、カナダ人が経営しているわさび農園をいくつか見学しました。多 いところで、年間10トンのわさびを生産しているにも拘らず、出荷先がないというの が共通の悩みでした。つまり、おいしいわさびは作れるけど需要がない。それなら、弊 社はわさびを加工して販売した方がマーケットを作れて、需要を増やすことができる のでは?そんなことを考えながら、カナダの片田舎にあるドライブインに入ると、驚く ことに売店で弊社のわさびふりかけが売られていました。最初は目を疑いましたが、 こんな場所にも置かれているなら、加工品としてのわさびの需要はあると確信しまし た。同時に輸出にも手応えを感じて、ジェトロが開催する商談会にも出展するよう になりました。

## ジェトロがつないだわさびに情熱を注ぐ人たちの思い

2017年から年2回の視察を行ううちに、現地に情熱を持ってわさびを作っている人 がいるのだから、我々が農園を作る必要はないと思い至りました。それよりも技術を 教える方が発展的と考え、2018年10月にカナダのわさび農園2社と調達契約を 結びました。わさびの種を発芽させる英語のマニュアルを専門家にチェックしてもら いながら作り、現地で手取り足取り指導してきました。予定では2019年の夏に4~ 5トンのわさびを収穫できるので、日本で加工し、カナダ国内での販売を目指します。 将来的にはカナダに工場を作るのが夢ですが、それまではカナダで栽培したわさび を冷凍して日本に輸入して、弊社の工場で加工して輸出をするという気が遠くなる 作業を続けます。輸出の方もジェトロの支援のお陰で、米国各地で順調に進行し ています。2018年3月に「静岡の水わさびの伝統栽培」が世界農業遺産に認定 されたので、追い風に乗ってわさびを世界に広めていきたいです。



専門家からのポイント



カメヤ食品はビジネスモデル確定・進出事業計画の策定・検証の段階からカナダのブリティッシュコロンビア州政府を軸とした現地ネットワークを広く構 ますので、まず、州政府のご紹介を含めた現地ネットワーク構築支援を行いながら、現実的で具体的な計画の策定、現地ネットワーク経由の検証であり、 着実に計画を実行いただきました。